

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会にゅ〜す♪

2009年6月24日発行

～薬害イレッサ三多摩シンポジウム～

参加者106名☆

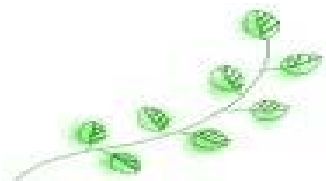
裁判勝訴にむけ思いをひとつにしました！！



★日本&海外でのレツサの調査結果と評価・有効性を示す結果が明確でない・欧州で再申請されているが適応は限定されている・安全性の担保が情報提供含め不十分であることを、パワーポイントで解説！

★承認前レツサの情報はどのように流れていたのか、患者、医療者（医師、薬剤師）の受け止めは・実際に拡大臨床試験の依頼を受けた薬剤師の話があり、インターネット上で「夢の新薬」の印象は患者の心を捉え、自ら医師に処方依頼という状況だったと報告！

★原告の訴え・レツサを使わないなら当院ではもう治療できないと選択？を迫られ、使用后、間質性肺炎にて死亡・最近の話。こんな認識で使われている現状・やはり間違っている！



7月16日いよいよ原告本尋問！！
多くの支援者で原告の方を応援しよう☆

参加者の感想

レツサや過去の薬害同様、政治も役所も企業も教育もあらゆる所に金と損得の自己中心主義が顔をのぞかせる。

薬害被害者は弱者である、それが大企業、国を相手に「理不尽さ」を訴える。この訴訟は、弱い人達から「最後の希望」への闘いでもある。まずは裁判に行こう。この目で確かめよう。

安全性に疑問を投げかける立場の議論を目の当たりにし、「知らないこと・知らされていないこと・知らされていないことがあること」など、メディアのリテラシー問題を考えられずにはいられない。利益相反の資料は圧巻・企業、厚労省をめぐる問題の本質がここにある。

裁判に行きたくなった。
シンポジウムに行っても良かった。

病気で死をむかえるのではなく、その病気を治すための薬で心の準備もなく苦しみ死ななければならないなんて許せません。どんな病でも誰もが安全で最善の治療が受けられる医療を皆で目指していくしかありません。



参加者みんなで作った『薬害レツサ訴訟 激励メッセージ』です♪ 大きな支援の花（紫陽花）が咲きました！！